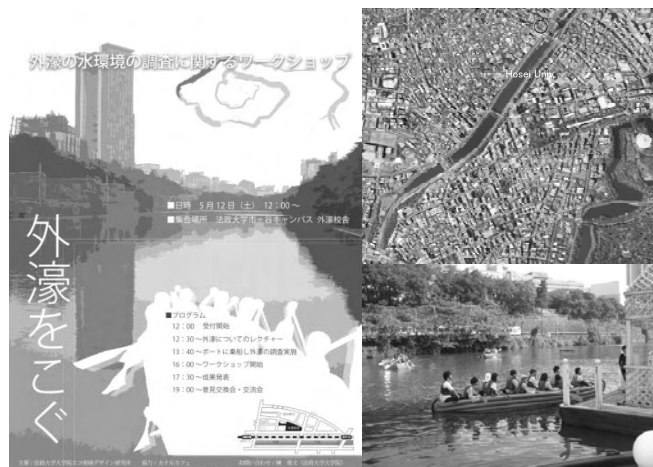


(資料 19)



(資料 20)



(資料 21)

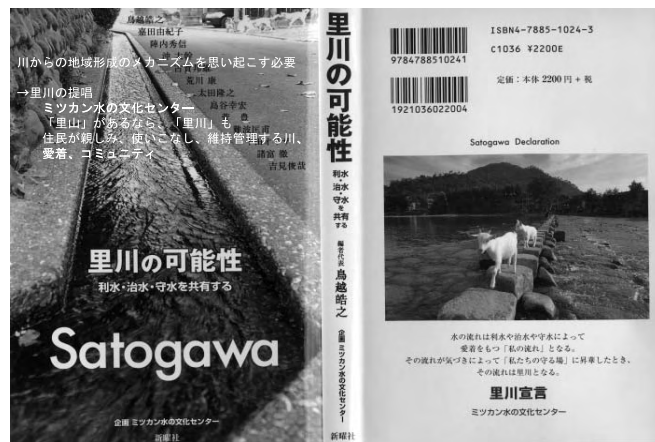


水上ジャズコンサート 外濠にて 法政大学エコ地域デザイン研究所主催

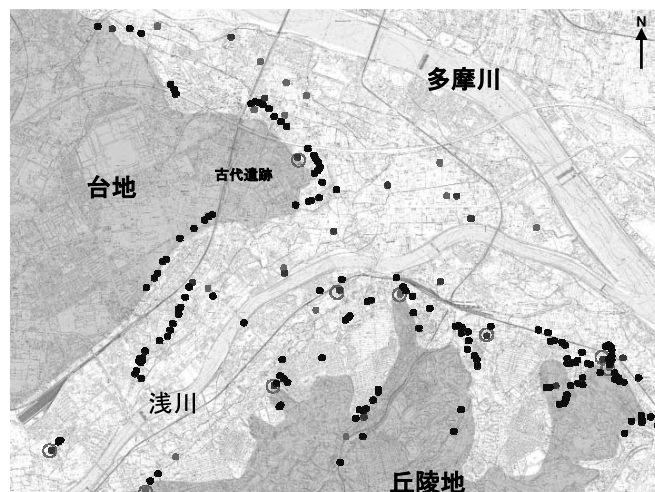
(資料 22)



(資料 23)



(資料 24)



(資料 25)

豊田地区 — 湧水＋用水



崖下の湧水を利用した空間と
近世に発達した用水を利用した空間の
2つの水によって地区を構成



日野

豊田地区

(資料 26)



湧水



用水

日野

豊田地区

(資料 27)

川辺堀之内地区の変遷

浅川からの取水口に寺社が置かれる



1947



2007

(資料 28)



(資料 29)

歴史・エコ廻廊の提案 (新たなインフラストラクチャ、公共財)

都市／地域の中に「歴史・エコ廻廊」の形成を提案。右肩上がりの成長拡大から、人口減少・縮小の時代に転じた今、自然環境と共生する 21 世紀型の都市・地域づくりをめざす必要性が強まっている。水辺に集積した歴史・自然の資産を活かした質の高い都市・地域づくりは、人々を惹き付け、観光を含む環境／文化産業、創造的産業（新たな農業も含む）を育て、経済力の強化にも繋がる。これは、経済vs環境・文化の対立関係を越え、21 世紀の新たな経済発展モデルとなりうる

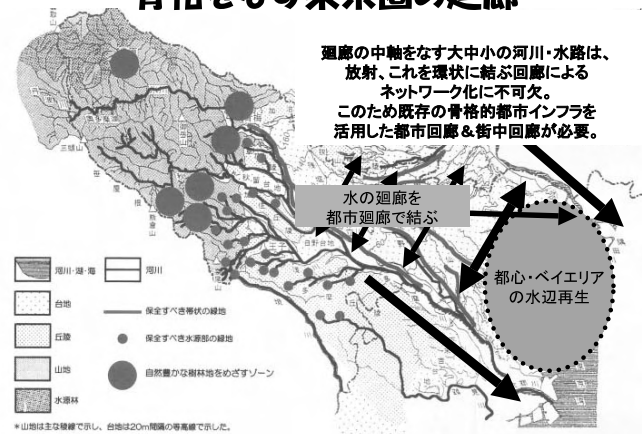
歴史とエコロジーと結びついた都市・地域の環境・文化資源を活かす可能性

所得倍増計画→ゆとりと個性倍増計画（エコ研）

文化的景観：心のゆとり

(資料 30)

骨格をなす東京圏の廻廊



(資料 31)

東京における「歴史・エコ廻廊」は、「都心～郊外～源流域」を結ぶ広域スケールの大廻廊と、それぞれの特徴ある地域内部を結ぶ中・小廻廊で構成される。水の側に視点を置き、舟運の復活も射程に入れる。
中廻廊としては、都心では江戸城外濠、西郊地域では日野の用水路等があり、小廻廊としては、快適に歩ける小河川や用水路沿いの空間、道空間などがある。
スケールの異なる廻廊が有機的に繋がれば、東京は世界に類例のない21世紀のエコシティとして蘇ることになる。

神田川ー日本橋川ー隅田川ループ、運河ルネサンス、品川の再生・再開発
江東地区、武蔵野・多摩地区（日野をはじめ）

(資料 32)

